

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



トレーラーハウスは、
「必要な時に必要な場所へ移動できる点」、
「スクラップ&ビルドではなく資源の有効利用ができる点」、
これらを実現するSDGsに適した製品です。

私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

加盟団体



一般社団法人 日本トレーラーハウス協会
一般社団法人 日本グランピング協会
一般社団法人 日本カーツーリズム推進協会
一般社団法人 新経済連盟
東京商工会議所

製造・販売元



トレーラーハウスデベロップメント

TEL 03-6206-2641

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 9F

トレーラーハウスデベロップメント



Scan to Web Site ▶



STシャーシシリーズ

ST01C

ST02C

ST05C

ST CHASSIS

トレーラーハウス専用シャーシ



トレーラーハウス専用シャーシ

用途に応じて3サイズご用意しています。

全サイズにナンバープレートが付き「車両を利用した工作物」としてご利用できます。

構造変更を行うことで一体型トレーラーハウスとして登録できます。



● いつでも公道を移動できる 車検取得(ナンバー付き)

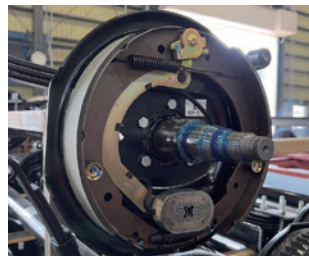
車検がついているトレーラーハウスは、全国どこでも自動車(被けん引自動車)として取り扱われます。

このため建築確認申請が不要です。



● 電磁式ブレーキ*特許取得済み

車台は、慣性(電子振り子式)ブレーキコントローラーと4輪とも電磁ブレーキを備えています。けん引車のブレーキに応じた制動力をトレーラーの電磁ブレーキに適切に分配することで、ブレーキコントローラーが設置されていない車両でも牽引し、また安全に停止させることができます。



* 特許第 5918789 号取得

動力車により牽引され、車輪に対する制動を付与しうる電磁ブレーキ装置が内装された被牽引車両であって、上記電磁ブレーキ装置は、ブレーキ装置本体部と、上記ブレーキ装置本体部の作動を制御しうるブレーキコントロール部とを有しており、上記ブレーキコントロール部は、牽引車両の静止状態及び牽引車両の制動状態を検知して上記検知信号を伝達する伝達部と、上記伝達部からの信号によりブレーキ装置本体部を作動させる制御部とを有しており、上記制御部は、牽引車両が制動状態に至った際に被牽引車両の牽引車両への追突を防止するための慣性制動部をさらに有しており、上記慣性制動部は、牽引車両の制動状態を検知して上記制御部に上記検知信号を伝達しうる振り子式センサー装置を備えていることを特徴とする被牽引車両

ST01C



スペック	
車台サイズ (mm)	W2,400×L5,400 (けん引部分1,100) ×H800
最大積載量	2,600 kg
車両重量	890 kg

主な利用例



発熱外来用(病院敷地内)



待合室(自動車学校敷地内)

ST02C



スペック	
車台サイズ (mm)	W2,400×L7,200 (けん引部分1,100) ×H800
最大積載量	2,450 kg
車両重量	1,040 kg

主な利用例



記録室(研究所敷地内)



移動交番(警視庁)

ST05C



スペック	
車台サイズ (mm)	W2,400 x L10,790 (けん引部分1,100) ×H800
最大積載量	1,900 kg
車両重量	1,580 kg

主な利用例



倉庫(工場敷地内)



休憩所(工場敷地内)